

平成 25 年 7 月 29 日

各 位

会社名 インспек株式会社
代表者名 代表取締役社長 菅原 雅史
(コード番号：6656 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 富岡 喜榮子
TEL 0187-54-1888 (代表)

債務超過の猶予期間入りに関するお知らせ

当社は、本日、有価証券報告書を提出し、平成 25 年 4 月期において債務超過となったことから、本日の株式会社東京証券取引所発表のとおり、有価証券上場規程第 603 条第 1 項第 3 号（債務超過）に該当するため、上場廃止に係る猶予期間入り銘柄となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 対象となる法定開示書類

有価証券報告書（自 平成 24 年 5 月 1 日 至 平成 25 年 4 月 30 日）

2. 債務超過となった経緯

当社は、平成 20 年のリーマン・ショック以降売上が伸び悩み、業績の低迷に苦しんでまいりました。一方で、平成 21 年にハイエンドパッケージ基板用 A0I の製品化に成功し有力ユーザーへの納入実績を上げて以降、ハイエンド A0I 分野で多くの実績を積み重ね、平成 24 年には同じくハイエンドパッケージ基板用 AVI の台湾での受注を獲得するなど、積極的に営業活動を行ってまいりました。

しかしながら、平成 25 年 4 月期においても売上が計画より大きく乖離し、販売費及び一般管理費等を吸収できるまでの売上を計上するに至りませんでした。また、特別損失として固定資産の減損損失を計上したこと等が重なり、平成 25 年 4 月期決算において営業損失 275 百万円、経常損失 278 百万円及び当期純損失 390 百万円を計上した結果、193 百万円の債務超過となりました。

3. 猶予期間

平成 25 年 5 月 1 日から平成 26 年 4 月 30 日

4. 今後の見通し

当社の主力製品である基板 A O I、基板 A V I とともに昨年後半から引き合いが増加し、受注も大きく伸びてきております。この状況に対応するため、平成 25 年 7 月 19 日に発表いたしましたとおり、今後さらに伸びが期待される台湾に子会社を設立し、台湾・中国における販売強化を図ってまいります。

さらに、米国の大手半導体メーカーと当社検査装置導入に関する直接取引の商談を開始しており、欧州の大手基板メーカーとは当社検査装置の導入に向け、代理店と連携して商談を開始しております。これらの商談はいずれもハイエンドの製品分野であり、当社が大きな競争力を持っていることから、今後の業績の拡大に大きく寄与するものと期待しております。

また、以前から取り組んでいるインライン検査モジュールについて、その高い性能が評価されてきており、特にスマートフォン向けの精密なタッチパネルの検査やフラットパネルの精密な検査モジュールとして、すでに受注を獲得しております。このような検査モジュールの供給は当社にとって新しい取り組みであり、当社の新たな収益源として拡大していくよう積極的に取り組んでまいります。

一方、新興市場で急速にニーズが高まっている外観検査装置市場向けの戦略製品である小型 AVI (AV500) については平成 25 年 6 月に開催された JPCA ショーで発表し販売を開始しております。

AV 500 は、当社の持つ AOI 及び AVI の技術とノウハウを結集し、最高の検査性能を持つと同時に小型化、ローコスト化も実現した製品であり、今後ますます拡大する外観検査のニーズに対応する AVI として、大きな貢献を果たしていくものと期待しております。

以上のとおり当社は今、大きな転換期を迎えており、目の前に来ているビジネスチャンスをしっかりと捉え、着実に実績を残し業績改善に努めるとともに、債務超過を早期に解消し中長期的な資金の確保と経営基盤の安定のため、増資等を含めた資本政策の実施に取り組んでまいります。

以上